

もりやま景況調査 令和3年10月～12月期

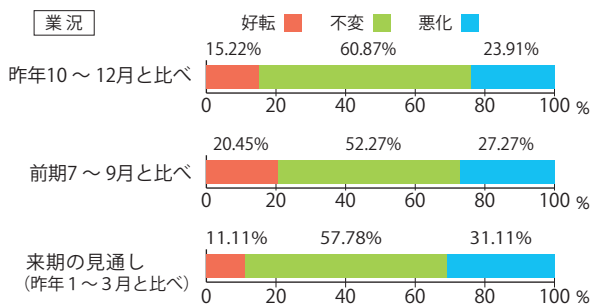


※DI (Diffusion Index (景気動向指数)) … 「増加」 「好転」 企業割合から 「減少」 「悪化」 企業割合を差し引いた数値

DI 指数	30 以上	10 以上 30 未満	▲ 10 以上 10 未満	▲ 30 以上 ▲ 10 未満	▲ 30 未満
-------	-------	----------------	------------------	--------------------	---------

業況

前回調査(令和3年7月～9月期)と比べてやや悪化している。来期も悪化の見通し。

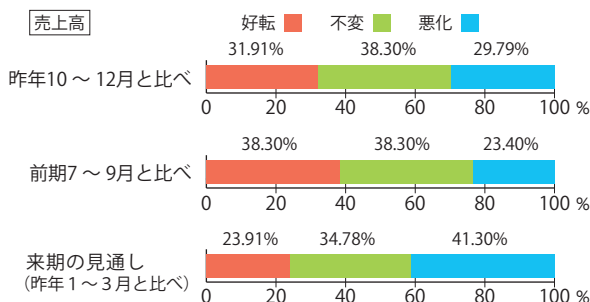


10～12月期動向 昨年同期との比較	全体	▲ 8.7	
	小売業	▲ 25.0	
	製造業	▲ 25.0	
	建設業	▲ 11.1	
	サービス業	0.0	
卸売業	50.0		

※業況DI(好転－悪化)は今期が▲8.7で前回調査の0から8.7ポイント悪化
来期の見通しDI(好転見通し－悪化見通し)は▲20.0で、今期より11.3ポイント悪化の見通し

売上高

前回調査(令和3年7月～9月期)と比べてやや改善している。来期は悪化の見通し。

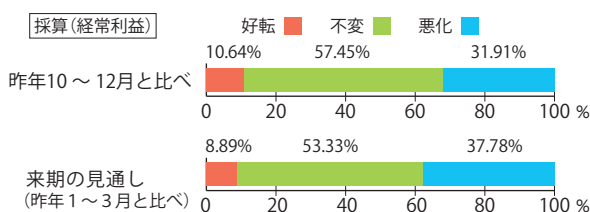


10～12月期動向 昨年同期との比較	全体	2.1	
	小売業	▲ 30.8	
	製造業	25.0	
	建設業	▲ 22.2	
	サービス業	15.4	
卸売業	75.0		

※売上高DI(好転－悪化)は今期が2.1で前回調査の▲5.8から7.9ポイント改善
来期の見通しDI(好転見通し－悪化見通し)は▲17.4で、今期より19.5ポイント悪化の見通し

採算(経常利益)

前回調査(令和3年7月～9月期)と比べて悪化している。来期もやや悪化の見通し。



10～12月期動向 昨年同期との比較	全体	▲ 21.3	
	小売業	▲ 38.5	
	製造業	▲ 12.5	
	建設業	▲ 33.3	
	サービス業	▲ 15.4	
卸売業	25.0		

※採算(経常利益)DI(好転－悪化)は今期が▲21.3で前回調査の▲5.8から15.5ポイント悪化
来期の見通しDI(好転見通し－悪化見通し)は▲28.9で、今期より7.6ポイントの悪化の見通し

新型コロナウイルスの影響などの意見

- ・コロナ感染が増加すると、計画した旅行が全てキャンセルになり売上げが減少します。
- ・せっかく上向いた需要がオミクロン株の急激な拡大でキャンセルが相次ぎ、新規の予約も見込めない状況です。先行き不透明ではありますが、できることをやりたいと考えています。
- ・3密の割引、バル等様々な施策のおかげでとても助かりました。長い期間延長していただきありがとうございました。
- ・地域行事や法事などの現象により注文が低調で、皆がマスクを外せるようにならないと需要は戻らないのではと考えています。
- ・社会保険料が年々上がっています。仕入価格も上昇中で苦しい経営環境です。

その他、調査結果の詳細については当所ホームページをご覧ください。

<https://www.moriyama-cci.or.jp/management/survey.html>

